



グアム島国防安全委員会 市民防衛庁 HP より

http://ghs.guam.gov/sites/default/files/files/JIC_Factsheet_2017_003%20-%20In%20Case%20of%20Emergency%20-%20Preparing%20for%20Imminent%20Missile%20Threat.pdf

概況報告書

緊急事態に備えて

ミサイルの脅威に備えるため

準備:

- 緊急事態用のグッズを1式揃えてください。(Fact Sheet2 参照)
- 家族で緊急事態に備えた計画を立ててください。(FactSheet2 参照)
- 家、職場、学校の近くで、コンクリートの、シェルターになりそうな場所をリストにします。
これには、地階・多層階にある建物内で真ん中の階の、窓のない場所が含まれます。
 - 核シェルターは必ずしも核から身を守るために作られたものでなくてもよいです。

壁や屋根が厚く、高密度であれば、放射性降下物の微粒子によってばらまかれた放射線を吸収するのに十分な場所となります。

ミサイルが落とされたら

- 政府の発表する情報をきちんと聞き、救急救命士の出す指示に従ってください。
脅威のレベルに基づいて、避難するか、特別な場所に行くか、疎開するかが求められるでしょう。
- 攻撃を警戒する旨が出されたなら、できる限り素早く地下かコンクリートの建物の下に身をひそめ、他の命令が出るまでそこにいるようにしましょう。
- コンクリートかレンガで作られている一番近い建物を見つけ、外に舞っている放射性物質を避けるために中に入りましょう。

- 家族から離れていたとしても、そこにいきましょう。人がいる場所では建物の中が一番安全で、あなたの命を守ってくれます。
- 政府等の機関から指示がない限り、少なくとも 24 時間そこにいきましょう。

外にいる時

- 閃光や火球を見ないように。目が見えなくなってしまう。
- 保護してくれるような場所にもぐり込んでください。
- 地面に寝て、頭を覆ってください。爆発が遠くで起こったとしても、30 秒ほどで爆風が襲ってきます。
- 攻撃が起こったとしたら、爆心地から何キロも離れていたとしても、できる限り避難してください。風に乗って、放射性物質が運ばれてきます。距離、避難、時間、この 3 点が大事です。
- もし爆風が起こった時に外にいた場合には、できる限り、放射性物質を取り除くために綺麗にしてください。放射性物質は体についているかもしれません。
- 放射性物質が広がるのを防ぐために、服を脱いでください。

一番上に着ていた服を脱げば、90%の放射性物質が取り除けます。

- もしできるのであれば、着ている汚れた服をプラスチックのカバンに入れて、カバンを密封してください。カバンはできるだけ、人間や動物から離れた場所に置いて、影響が出ないようにしてください。
- 可能であれば、シャワーを浴びてたくさんの水やせっけんで放射性の汚染物質を洗い流してください。体を引っかいたり、こすったりはしないでください。
- 髪はシャンプーか、石鹸、水で洗い流してください。逆に、コンディショナーは髪に放射性物質がついてしまうので、使わないようにしてください。
- 鼻をかんで、瞼やまつげをぬぐってください。清潔なぬれた布でそうしてください。目も丁寧に拭ってください。
- もしシャワーが浴びれなかったら、ウェットティッシュか清潔な濡れた布を使って、服で被われていない肌部分はぬぐってください。

ミサイルが攻撃された後

- ・政府からの公の情報を聞いて、どこへ行くべきか、どこに避難すべきか、何をすべきか聞いて下さい。

- ・“放射性物質危険”または“HAZMAT・危険性物質”と書かれた場所、汚染場所からは離れてください。

放射性物質は目に見えず、においもなく、また人間の感覚からはわかりません。

覚えておくこと

距離：

放射性降下物から離れていれば離れているほど、良いでしょう。多層階の建物の真ん中に位置する床が一番理想的です。屋根が平らであれば、放射性降下物の微粒子を集めるので、一番上の階は良い選択ではありません。同様に、近所の平らな屋根に隣接した床も良い選択とは言えません。

避難すること：

放射性物質が重くて、濃いものであればあるほど、壁が厚いこと、コンクリートであること、レンガであること、間に本があったり、地面があったりすることは大事です。もし時間があるのであれば、プラスチックの被覆用材を見つけて、ドアや窓、空気が入るところを覆って、放射性物質が家の中に入らないようにしてください。

時間：

核放射性物質は急速にその強さを失います。それでしばらくしたら、核シェルターから離れることができます。放射性物質は最初の 2 週間は人間にとって非常に危険なものです。その後は最初の放射性レベルの強さがおよそ 1%にまで落ちます。

覚えておくこと：

どんな保護も、例え、仮りの保護でも、何もないよりはましです。

避難することや、離れること、時間を置くことも大事です。

もし運転していたとしたら、道路わきに車を寄せて、一番近くのシェルターに避難してください。

自分の子どもが学校、またはデイケアにいたとしたら？

学校のスタッフは緊急事態に対応できるように訓練されています。先生やスタッフは詳細なプランをもち、緊急事態には実行します。先生たちはそれぞれの異なる緊急事態に備えて、生徒たちに対応できるように訓練されていて、落ち着いて、組織力を発揮します。

学校の建物は安全です

全部の学校は丈夫に作られており、規制の建築基準を満たしています。政府の機関は定期的に学校を巡回して、学校内の子ども達が安全かどうかチェックしてくれます。学校はしばしば地域内の緊急シェルターとして使用されていますが、それは学校建物が安全だからです。

ニュースを聞いて、学校には電話をしなさい。

学校に電話をかけると、結果として緊急事態に対応するのが遅れ、政府関係者が学校のスタッフと直接コンタクトが撮りにくくなります。

ラジオやニュース、Facebook やツイッターのようなオンラインソースを使用して、情報を聞いてください。一番最新のニュースを聞くように。

辛抱強く、子どもを連れて帰る指示を待つように

子どもをすぐに連れて帰らないように。

ご両親も子ども達も、出来る限り道路からは離れた安全な場所にいるようにしてください。道路にいるよりは、学校にいる方が安心です。子ども達にとって一番大事なのは学校にいて、警戒解除信号が解かれるまで、そこにとどまることです。一度、警戒解除信号が解かれたなら、子ども達を連れて帰るための指示に従ってください。

覚えておいてください。

学校の方では、緊急事態カードを持っています。そこに保護者の名前が書かれています。そのカードにリストアップされていない人を学校に送らないでください。学校の方では認識できないので、子どもをその人には託さないでしよう。

もし子供が質問してきたら

できるだけ、誠実に子どもの質問に答えてください。家族でそういった状況についてディスカッションしてください。そうすれば何か起こった時に、家族全員が対処できるようになります。